



第44期 事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで



[我が社の基本理念]

われわれは、常に一流を指向し、内に礼節、勤勉、誠実を心がけ、積極果敢に行動します。

- 一、常に需要の動向を的確にとらえ、より良いものを、より安く供給します。
- 一、顧客に奉仕し、明るい職場環境をつくり、従業員の生活向上を図ります。
- 一、限らない情熱と、たゆまぬ努力を重ね、企業の発展を期し社会のために尽くします。



第三工場



品質方針

- ・ユーザーニーズに的確に対応した品質の、製品、サービスを提供し、お客様の永続的な満足と信頼を得る。
- ・品質マネジメントシステムの継続的改善を図る。

環境理念

小松ウオールは、かけがえのない地球環境を守るため「企業活動と環境保全の調和」を経営の重要課題のひとつとして捉え、地球環境保全の活動を通して社会に貢献します。



代表取締役社長

加納 裕

1 会社の経営の基本方針

当社は、間仕切の専門メーカーとして、ビルの高層化・建物の工期短縮という建設業界の要請に即して、受注から設計、製造、施工、サービスまでの自社一貫システムをもって、様々な新製品を社会に送り出し高い評価を得てまいりました。今後においても当社の専門分野である間仕切関連製品を中心に、新製品の開発、サービスの向上を通じて、着実な業容の拡大と安定した収益を継続して上げることにより、株主・取引先・社員との共存共栄を図って社会への一層の貢献を行うことを経営指針として活動してまいります。

2 会社の利益配分に関する基本方針

当社の利益配分に関する基本的な考え方は、収益状況に対応した上で、株主還元の充実を図り、安定配当を継続することと、その一方で企業体質の強化、および業容の拡大に備えて内部留保を充実することも目標としております。この内部留保につきましては、業界内部における競争激化に対処し、コスト競争力を高めるための設備投資等の資金需要に備えるためであり、将来的には収益の向上を通じて株主の皆様へ還元できるものと考えております。

また、株主優待制度を設け、3月末現在の1単元以上保有の株主様に対して当社オリジナルデザイン図書カードを贈呈する制度を実施しております。

3 目標とする経営指標

当社が目標としている経営指標は、売上高経常利益率10%以上および総資産経常利益率10%以上であります。これらは事業効率向上と株主価値の最大化を図るための資本効率の向上を目指したものであり、継続的に達成できる体質を目指しております。具体的には、徹底した合理化、原価低減、効率の高い設備投資等により一人当たりの生産性を高めるとともに、創業時より採用している小分割独立採算制度により、従業員一人ひとりが常に利益を意識した活動をしてまいりました。また、利益増とともに総資産の圧縮を目指し、借入金返済、支払手形廃止、原材料・製品在庫等たな卸資産の圧縮等を実施してまいりました。

今後も目標達成に向けて諸施策を実施し、業績および株主価値の向上を図ってまいりたいと存じます。

4 中長期的な会社の経営戦略

今後の間仕切業界は、景気回復までの期間について長期化の予想もあり、設備投資意欲の減衰傾向が継続し、厳しい受注競争、価格競争が継続するものと考えられます。このような状況下においては、間仕切市場占有率のアップと間仕切関連製品であるドア市場への本格的な進出および厳しい価格競争に耐えられるコスト競争力が不可欠であり、当社は、着実な業容拡大と安定した収益確保のために、以下の中期経営計画を策定、実施してまいります。

- ①営業力の増強と販売網の拡充に努め、47都道府県に1拠点以上の営業拠点を設置し、エンドユーザーに直結した販売体制の構築に取り組んでまいります。
- ②生産体制の充実を図り、生産性向上を強化してまいります。
- ③今後も継続する高齢化社会に対応した製品、環境にやさしい製品を戦略製品と位置付け、新製品開発に積極的に取り組んでまいります。

5 会社の対処すべき課題

当社では、収益重視の経営を基本とし、今後も収益確保に努め、業績拡大に取り組んでまいります。また、管理体制面では、内部統制を一層強化するとともに、コーポレート・ガバナンスの充実・強化に努めてまいります。

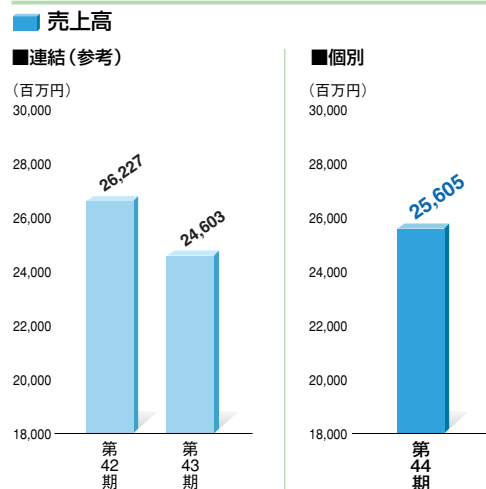
1. 経営成績

1 当期の概況

当事業年度のわが国経済は、世界的な金融危機に端を発した景気低迷の影響は緩やかに改善の動きが見られ、雇用環境、所得環境の改善や設備投資意欲の持ち直しが見られたものの、平成23年3月11日に発生した東日本大震災が国内経済に与える影響は甚大であり、非常に先行き不透明な状況となっております。

間仕切業界におきましても、企業収益の持ち直しによる設備投資意欲の改善も見られ、厳しい状況ながらも緩やかな回復傾向にありましたが、今回の震災により、依然厳しい経営環境が継続しております。

このような情勢の中で、当社は主力製品を中心に、軽量ドア、トイレブースの拡販を積極的に行うとともに、設計指定活動を一層推進し、新規優良顧客の開拓、休眠顧客の掘り起こし、小口物件の受注の増大に努めてまいりました。また、当社



当社は第44期より個別財務諸表提出会社となっております。第42期、第43期については連結の売上高をご参考までに掲載させていただいております。

営業の概況

子会社の小松ウオールサービス株式会社を吸収合併し、経営管理体制の一元化、施工業務を含めた事業全体を一体運営することで、より機動的に事業を展開してまいりました。

これらの結果、当事業年度は、売上高につきましては、官公庁向けは公共事業の削減の影響は大きいものの、学校・体育施設、文化施設、福祉・厚生施設を中心にトイレブス、大型移動間仕切の納入実績を伸ばしました。また、民間向けは工場・生産施設や都内を中心に事務所・オフィスビルでの需要が回復し、全体としては、売上高は256億5百万円となりました。利益面については、売上高は堅調に推移したものの、価格競争による売上総利益率の低下の影響は大きく、販売費及び一般管理費の節減に努めましたが、営業損失5億22百万円、経常損失4億35百万円、当期純損失30百万円となりました。

なお、当社は当事業年度より連結財務諸表の作成を行っておりません。前連結会計年度の業績は、売上高246億3百万円、営業利益40百万円、経常利益2億22百万円、当期純損失40百万円であります。

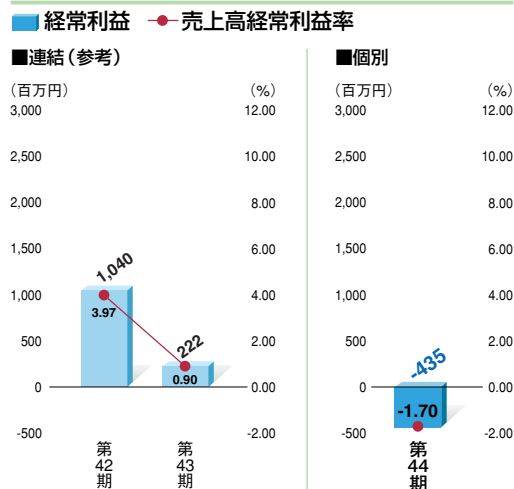
2 配当金の状況

当期の配当金につきましては、厳しい事業環境が続いてまいりましたが、中間期には1株当たり15円の配当を実施いたしました。しかしながら、期末配当につきましては、平成23年4月14日に公表しました配当予想の修正のとおり1株当たり13円とし、年間配当金額を1株当たり28円とさせていただきました。

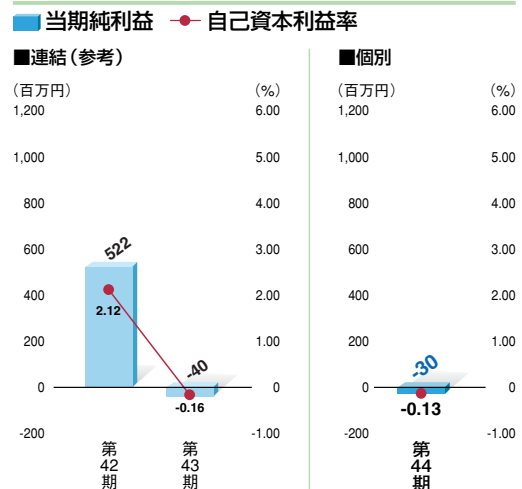
3 次期の見通し

次期の国内経済につきましては、世界的な景気低迷の影響は緩やかに改善の動きが見られたものの、平成23年3月11日に発生した東日本大震災が、国内経済に与える影響は甚大であり、景気が下振れするリスクが存在し、先行きについては非常に見通しづらい状況となっております。

間仕切業界におきましても、企業収益の改善にともなう設備投資意欲の回復が見られるものの、依然として販売競争は厳しさを増しております。また、今回の震災により、東北地方を



当社は第44期より個別財務諸表提出会社となっております。第42期、第43期については連結の経常利益、売上高経常利益率をご参考までに掲載させていただいております。



当社は第44期より個別財務諸表提出会社となっております。第42期、第43期については連結の当期純利益、自己資本利益率をご参考までに掲載させていただいております。

営業の概況

中心として新規受注の減少、受注物件の工事着工の遅れ等が予想され、今後も厳しい状況が継続するものと思われます。

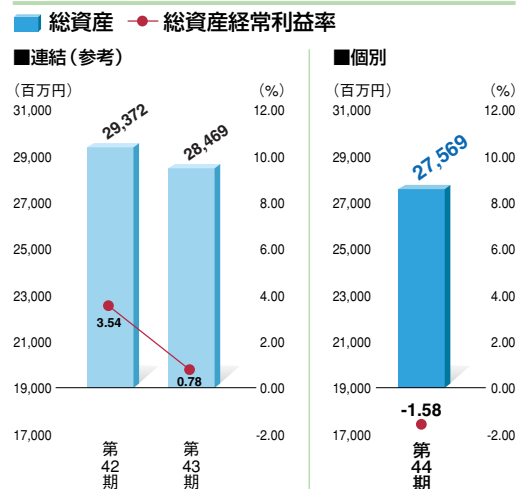
このような状況下において、当社は、「設計指定活動」による受注活動と新規優良顧客の開拓を積極的に推進しながら、新製品の開発による他社との差別化を図り、永年培った間仕切のノウハウを提供することで、受注強化を図ってまいります。また、益々進む少子高齢化社会を背景に今後も引き続き需要が見込まれる学校・病院・医療施設向けの可動間仕切、軽量ドア、トイレブース製品の拡販に努めてまいります。

これらの見通しと受注残高の消化等を考慮し、次期の業績予想としましては、売上高は270億円、営業利益は5億円、経常利益は5億50百万円、当期純利益は2億60百万円を見込んでおります。

2.財政状態

1 資産、負債、純資産の状況

当事業年度末における資産総額は275億69百万円となり、

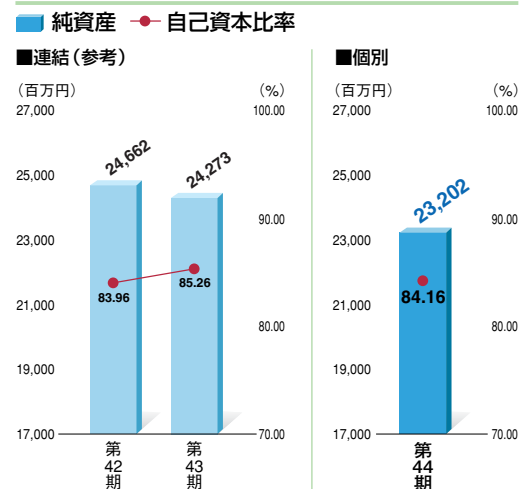


当社は第44期より個別財務諸表提出会社となっております。第42期、第43期については連結の総資産、総資産経常利益率をご参考までに掲載させていただいております。

前事業年度末より1億89百万円減少しております。これは主に受取手形4億94百万円、売掛金12億48百万円、繰延税金資産1億45百万円等の増加と、現金及び預金19億54百万円、有価証券2億94百万円等の減少による流動資産の減少3億98百万円と、有形固定資産5億67百万円等の増加および投資その他の資産3億75百万円等の減少による固定資産の増加2億8百万円によるものであります。

負債総額は43億66百万円となり、前事業年度末より3億25百万円増加しております。これは買掛金1億42百万円、未払金81百万円等の増加による流動負債2億3百万円の増加と、退職給付引当金1億19百万円等の増加による固定負債1億21百万円の増加によるものであります。

また、純資産につきましては、232億2百万円となり、前事業年度末より5億15百万円の減少となりました。これは主として利益剰余金3億48百万円等の減少と、自己株式1億43百万円の増加によるものであります。



当社は第44期より個別財務諸表提出会社となっております。第42期、第43期については連結の純資産、自己資本比率をご参考までに掲載させていただいております。

2 キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は39億66百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により減少した資金は14億12百万円となりました。これは主に、減価償却費6億59百万円、減損損失2億19百万円、仕入債務の増加額2億16百万円等による増加と、税引前当期純損失1億32百万円、売上債権の増加額18億22百万円、抱合せ株式消滅差益5億62百万円等による減少であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により増加した資金は20億80百万円となりました。これは主に、定期預金の預入および払戻による純収入25億円、保険積立金の払戻による収入5億14百万円等による増加と有形および無形固定資産の取得による支出11億90百万円等による減少であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により減少した資金は4億62百万円となりました。これは、配当金の支払3億18百万円および自己株式の取得による支出1億43百万円による減少であります。

3 キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第42期 (平成21年3月期)	第43期 (平成22年3月期)	第44期 (平成23年3月期)
自己資本比率(%)	84.0	85.3	84.2
時価ベースの自己資本比率(%)	38.3	37.1	31.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

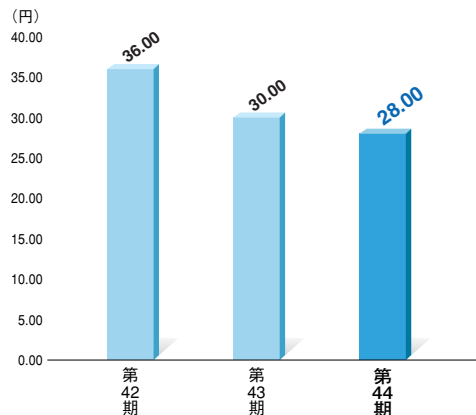
(注) 1. 当社は第44期より個別財務諸表提出会社となっております。第42期、第43期については連結ベースの財務数値により計算したものをご参考までに掲載させていただいております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

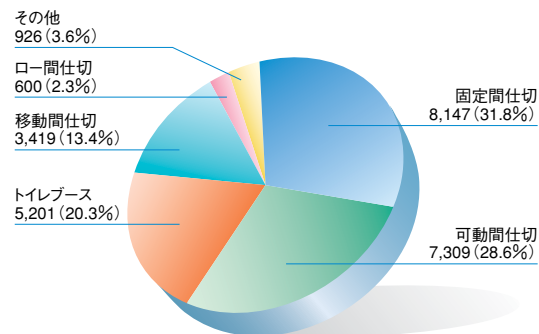
3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 当社は有利子負債および利払いはありませんので、キャッシュ・フロー対有利子負債比率およびインタレスト・カバレッジ・レシオについては記載しておりません。

1 株当たり配当金



品目別売上高構成比 (単位:百万円)



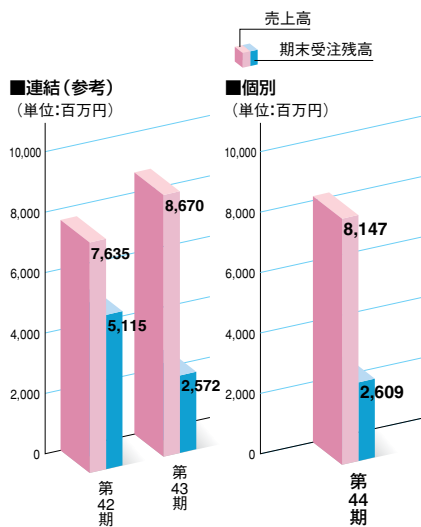
品目別情報

固定間仕切

建物付帯工事として溶接により躯体に取付け
る間仕切であります。



カームドア

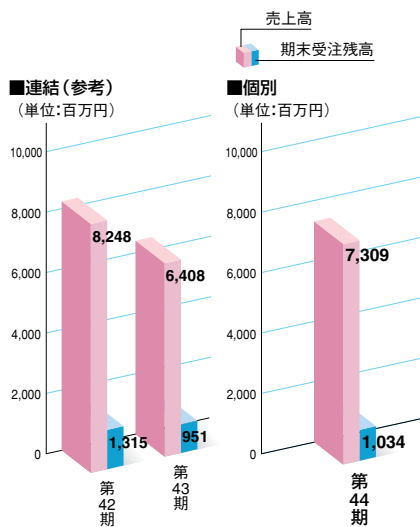


可動間仕切

レイアウト変更の際、使用方法に応じて撤去、
移設が可能な間仕切であります。



マイティ

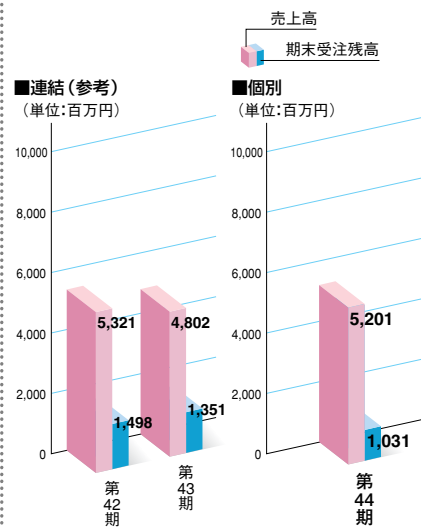


トイレブース

ユニット化したトイレ専用の間仕切であり
ます。

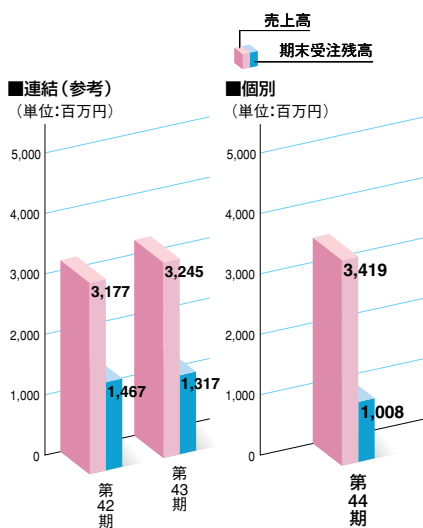


サニティブース



移動間仕切

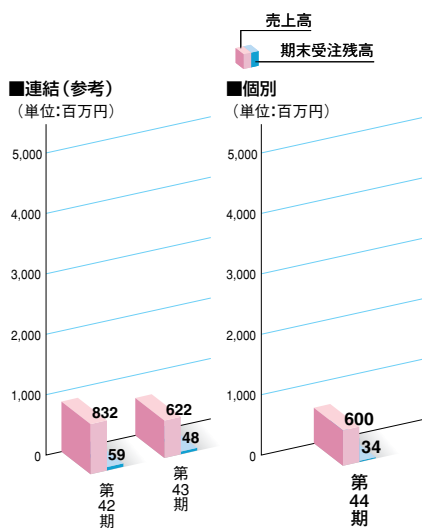
ホテルの宴会場等の仕切りとして、ユーザー自身が移動させて使用する間仕切であります。



小松ランニング

ロー間仕切

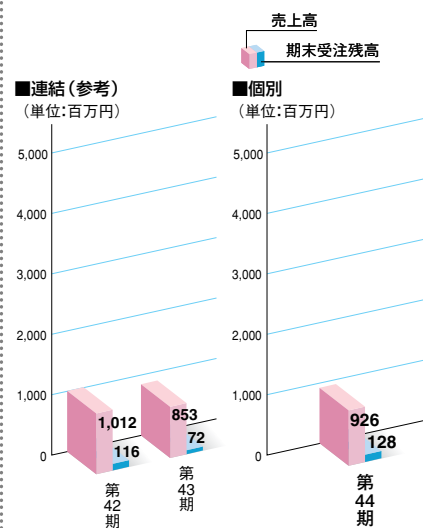
主に、オフィス用衝立およびローパーティション等のオフィス家具であります。



モールシステム

その他

主に、ファンコイルカバー等の金属工事ならびに既存間仕切の解体・移設組立であります。



サーフィスウォール

財務諸表

貸借対照表

■連結(参考)

(単位:百万円)

科目	第42期 (平成21年 3月31日現在)	第43期 (平成22年 3月31日現在)	科目	第42期 (平成21年 3月31日現在)	第43期 (平成22年 3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	17,874	17,652	流動負債	3,335	2,807
現金及び預金	7,338	7,760	買掛金	1,494	1,533
受取手形及び売掛金	8,550	8,781	未払金	651	668
有価証券	—	300	未払法人税等	82	—
たな卸資産	1,601	401	前受金	306	27
繰延税金資産	322	237	賞与引当金	641	494
その他	112	244	その他	159	83
貸倒引当金	△ 51	△ 72	固定負債	1,373	1,387
固定資産	11,498	10,816	退職給付引当金	1,016	1,158
有形固定資産	6,819	6,941	役員退職慰労引当金	334	211
建物及び構築物	5,420	5,492	その他	22	17
機械装置及び運搬具	2,691	2,792	負債合計	4,709	4,195
土地	3,636	3,636	(純資産の部)		
その他	864	1,060	株主資本	24,661	24,271
減価償却累計額	△ 5,794	△ 6,040	資本金	3,099	3,099
無形固定資産	385	406	資本剰余金	3,031	3,031
投資その他の資産	4,293	3,468	利益剰余金	18,991	18,602
投資有価証券	431	431	自己株式	△ 461	△ 461
保険積立金	3,140	2,381	評価・換算差額等	0	2
繰延税金資産	431	351	その他有価証券評価差額金	0	2
その他	377	436			
貸倒引当金	△ 88	△ 132	純資産合計	24,662	24,273
資産合計	29,372	28,469	負債・純資産合計	29,372	28,469

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■個別

(単位:百万円)

科目	第44期 (平成23年3月31日現在)	科目	第44期 (平成23年3月31日現在)
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	16,880	流動負債	2,937
現金及び預金	5,466	買掛金	1,750
受取手形	2,959	未払金	659
売掛金	7,565	未払費用	50
有価証券	5	未払法人税等	31
製品	107	前受金	35
仕掛品	141	預り金	21
原材料及び貯蔵品	232	賞与引当金	389
前払費用	36	固定負債	1,429
繰延税金資産	361	退職給付引当金	1,197
その他	115	役員退職慰労引当金	211
貸倒引当金	△ 111	その他	19
固定資産	10,689	負債合計	4,366
有形固定資産	7,187	(純資産の部)	
建物	2,005	株主資本	23,224
構築物	61	資本金	3,099
機械及び装置	1,360	資本剰余金	3,031
車両運搬具	8	利益剰余金	17,698
工具、器具及び備品	121	自己株式	△ 605
土地	3,631	評価・換算差額等	△ 21
無形固定資産	434	その他有価証券評価差額金	△ 21
電話加入権	18		
ソフトウェア	413		
その他	1		
投資その他の資産	3,067		
投資有価証券	385		
出資金	21		
破産更生債権等	226		
長期前払費用	7		
繰延税金資産	391		
保険積立金	1,988		
その他	249		
貸倒引当金	△ 203	純資産合計	23,202
資産合計	27,569	負債・純資産合計	27,569

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当社は第44期より個別財務諸表提出会社となっております。第42期、第43期については連結貸借対照表をご参考までに掲載させていただいております。

財務諸表

損益計算書

■連結(参考)

(単位:百万円)

科目	第42期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	第43期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
売上高	26,227	24,603
売上原価	18,589	17,978
売上総利益	7,638	6,625
販売費及び一般管理費	6,653	6,584
営業利益	984	40
営業外収益	79	202
受取利息	37	27
受取配当金	6	6
受取保険金	4	142
受取家賃	14	16
その他	16	9
営業外費用	22	20
売上割引	22	18
その他	0	1
経常利益	1,040	222
特別利益	7	1
固定資産売却益	7	1
特別損失	28	20
固定資産売却損	5	5
固定資産除却損	11	14
ゴルフ会員権評価損	10	—
投資有価証券評価損	1	0
退職給付制度終了損	1	—
税金等調整前当期純利益	1,019	203
法人税、住民税及び事業税	503	85
法人税等調整額	△6	158
当期純利益又は 当期純損失(△)	522	△40

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■個別

(単位:百万円)

科目	第44期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
売上高	25,605
売上原価	19,780
売上総利益	5,825
販売費及び一般管理費	6,347
営業損失(△)	△522
営業外収益	108
受取利息	13
受取配当金	6
受取保険金	61
受取家賃	15
その他	11
営業外費用	21
売上割引	20
その他	0
経常損失(△)	△435
特別利益	562
固定資産売却益	0
抱合せ株式消滅差益	562
特別損失	259
固定資産売却損	2
固定資産除却損	24
減損損失	219
資産除却債務会計基準の適用に伴う影響額	12
税引前当期純損失(△)	△132
法人税、住民税及び事業税	50
法人税等調整額	△152
当期純損失(△)	△30

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当社は第44期より個別財務諸表提出会社となっております。第42期、第43期については連結損益計算書をご参考までに掲載させていただいております。

財務諸表

株主資本等変動計算書

(自平成22年4月1日至平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	3,099
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	3,099
資本剰余金	
資本準備金	
前期末残高	3,031
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	3,031
資本剰余金合計	
前期末残高	3,031
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	3,031
利益剰余金	
利益準備金	
前期末残高	301
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	301
その他利益剰余金	
固定資産圧縮積立金	
前期末残高	225
当期変動額	0
固定資産圧縮積立金の積立	0
当期変動額合計	0
当期末残高	225
別途積立金	
前期末残高	14,986
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	14,986
繰越利益剰余金	
前期末残高	2,533
当期変動額	△ 317
剰余金の配当	△ 30
当期純損失(△)	△ 30
固定資産圧縮積立金の積立	△ 0
当期変動額合計	△ 349
当期末残高	2,184

	金額
利益剰余金合計	
前期末残高	18,046
当期変動額	△ 317
剰余金の配当	△ 30
当期純損失(△)	△ 30
固定資産圧縮積立金の積立	—
当期変動額合計	△ 348
当期末残高	17,698
自己株式	
前期末残高	△ 461
当期変動額	△ 143
自己株式の取得	△ 143
当期変動額合計	△ 143
当期末残高	△ 605
株主資本合計	
前期末残高	23,716
当期変動額	△ 317
剰余金の配当	△ 30
当期純損失(△)	△ 30
自己株式の取得	△ 143
当期変動額合計	△ 491
当期末残高	23,224
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	2
当期変動額	△ 23
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 23
当期変動額合計	△ 21
当期末残高	△ 21
評価・換算差額等合計	
前期末残高	2
当期変動額	△ 23
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 23
当期変動額合計	△ 21
当期末残高	△ 21
純資産合計	
前期末残高	23,718
当期変動額	△ 317
剰余金の配当	△ 30
当期純損失(△)	△ 30
自己株式の取得	△ 143
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 23
当期変動額合計	△ 515
当期末残高	23,202

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

キャッシュ・フロー計算書

■連結(参考)

(単位:百万円)

科目	第42期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	第43期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,019	203
減価償却費	541	509
退職給付引当金の増減額(△:減少)	112	141
役員退職慰労引当金の増減額(△:減少)	2	△123
貸倒引当金の増減額(△:減少)	12	65
受取利息及び受取配当金	△44	△33
持分法による投資損失	—	—
減損損失	—	—
固定資産売却益	—	—
売上債権の増減額(△:増加)	247	△280
たな卸資産の増減額(△:増加)	454	1,200
仕入債務の増減額(△:減少)	△72	39
未払金の増減額(△:減少)	38	19
前受金の増減額(△:減少)	△110	△279
その他(純額)	△188	△371
小計	2,014	1,091
利息及び配当金の受取額	41	36
法人税等の支払額	△580	△297
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,474	829
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△300
定期預金の預入による支出	△4,200	△4,500
定期預金の払戻による収入	3,800	4,700
有形固定資産の取得による支出	△186	△507
有形固定資産の売却による収入	39	2
無形固定資産の取得による支出	△182	△167
投資有価証券の売却による収入	10	—
保険積立金の払戻による収入	—	1,088
その他(純額)	1	△173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△718	142
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	4	—
配当金の支払額	△382	△349
財務活動によるキャッシュ・フロー	△377	△349
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	378	622
現金及び現金同等物の期首残高	2,759	3,138
現金及び現金同等物の期末残高	3,138	3,760

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■個別

(単位:百万円)

科目	第44期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純損失(△)	△132
減価償却費	659
減損損失	219
貸倒引当金の増減額(△:減少)	107
受取利息及び受取配当金	△19
抱合せ株式消滅差損益(△:益)	△562
売上債権の増減額(△:増加)	△1,822
たな卸資産の増減額(△:増加)	△80
仕入債務の増減額(△:減少)	216
退職給付引当金の増減額(△:減少)	39
その他(純額)	△167
小計	△1,541
利息及び配当金の受取額	26
法人税等の支払額	△65
法人税等の還付額	167
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,412
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△4,500
定期預金の払戻による収入	7,000
有形固定資産の取得による支出	△1,027
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△163
有価証券の償還による収入	300
保険積立金の払戻による収入	514
その他(純額)	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△143
配当金の支払額	△318
財務活動によるキャッシュ・フロー	△462
現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	206
現金及び現金同等物の期首残高	3,420
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	339
現金及び現金同等物の期末残高	3,966

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当社は第44期より個別財務諸表提出会社となっております。第42期、第43期については連結キャッシュ・フロー計算書をご参考までに掲載させていただいております。

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	10,903,240株
単元株式数	100株
株主数	17,418名
株主1人当たり平均持株数	626株

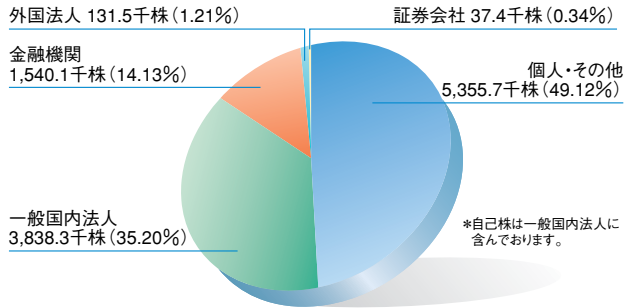
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社 アネシス	1,730,000	16.64
加納株式会社	701,849	6.75
株式会社 北國銀行	442,280	4.25
小松ウオール工業従業員持株会	259,640	2.50
有限会社 マルヨ	228,000	2.19
加納 裕	157,712	1.52
明治安田生命保険相互会社	154,600	1.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	148,300	1.43
株式会社 北陸銀行	141,600	1.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	128,500	1.24

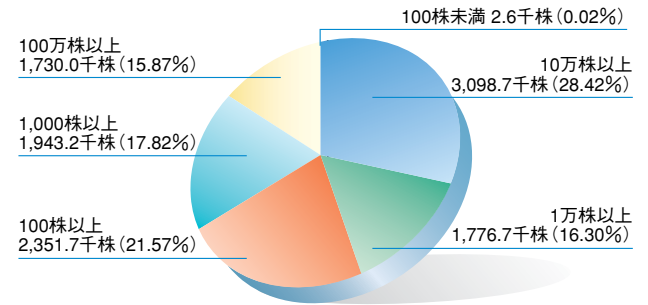
(注) 1. 持株比率は自己株式(505,361株)を控除して計算しております。

2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社および日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数は、信託業務に係るものであります。

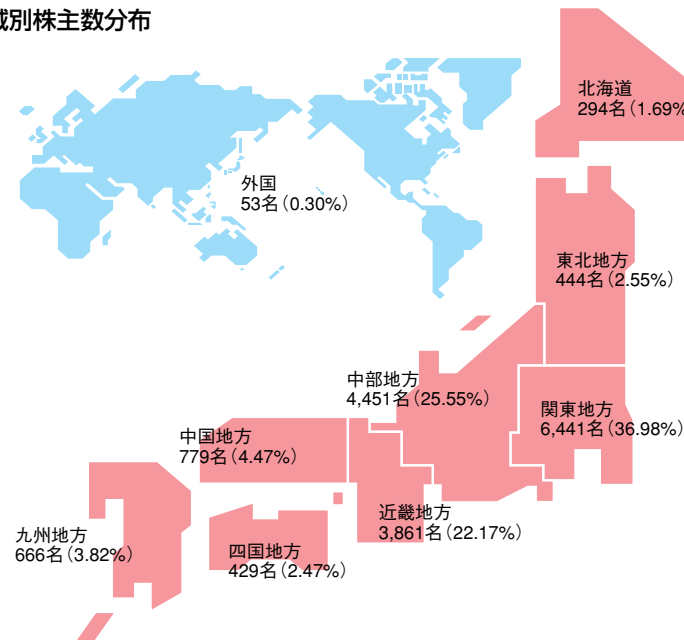
所有者別株式数分布



所有株数別株式数分布



地域別株主数分布



商号 小松ウォール工業株式会社
(KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD.)

設立 昭和43年1月22日

資本金 3,099,945,552円

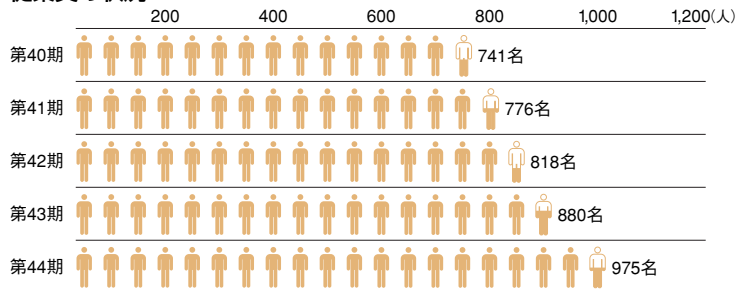
事業目的 1. スチールおよびアルミニウム製品の製造、
販売ならびに工事施工
2. 室内装備品の販売および設計施工
3. 前各号に附帯する一切の事業

役員	代表取締役社長	加納裕
	取締役	牛島覚
	取締役	吉岡雄
	取締役	木戸義朗
	取締役	鈴木裕文
	取締役	本彦義夫
	常勤監査役	熊田雅巳
	監査役	林他喜男
	監査役	山口徹

従業員数 975名

(注) 従業員数には、嘱託およびパートタイマー(計41名)は含まれておりません。

従業員の状況



本社社屋

事業所

本社・工場

本第	一	工	社	〒923-8643	小松市工業団地一丁目72	☎(0761)21-3131(代)
第	二	工	場	〒923-8643	小松市工業団地一丁目6	☎(0761)21-7161(代)
第	三	工	場	〒923-8643	小松市工業団地一丁目72	☎(0761)21-3374(代)
				〒923-8643	小松市工業団地二丁目16	☎(0761)23-5191(代)

支店・営業所

札幌	支店	〒063-0850	札幌市西区八軒十条西10丁目1-30	☎(011)611-5122(代)
仙台	支店	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町一丁目6-10	☎(022)788-2181(代)
新潟	支店	〒950-0951	新潟市中央区鳥屋野字中沼314	☎(025)283-1595(代)
東京	第一支店	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03)3263-2351(代)
東京	第二支店	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03)3263-2951(代)
横浜	支店	〒222-0033	横浜市港北区新横浜三丁目18-14 住生新横浜第2ビル8F	☎(045)474-3733(代)
名古屋	支店	〒399-0034	松本市野満東一丁目16-22	☎(0263)26-8731(代)
名古屋	支店	〒467-0852	名古屋瑞穂区明前町17-7	☎(052)819-6021(代)
京都	支店	〒600-8357	京都市下京区五条通堀川西入柿本町579 五条堀川ビル1F	☎(075)352-4711(代)
大阪	第一支店	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋一丁目1-13 東邦ビル7F	☎(06)6241-5321(代)
大阪	第二支店	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋一丁目1-13 東邦ビル8F	☎(06)6245-6871(代)
広島	支店	〒731-5123	広島市佐伯区五日市町大字昭和台28-5	☎(082)924-8890(代)
福岡	支店	〒760-0078	高松市今里町二丁目12-7	☎(087)834-6011(代)
福岡	支店	〒812-0062	福岡市東区松島一丁目32-20	☎(092)623-8581(代)
青森	営業所	〒030-0811	青森市青柳一丁目7-4	☎(017)732-3121(代)
盛岡	営業所	〒020-0816	盛岡市中野一丁目17-3	☎(019)606-1631(代)
福島	営業所	〒963-0111	郡山市安積町荒井字大久保28-1	☎(024)946-0601(代)
前橋	営業所	〒371-0831	前橋市小相木町36-1	☎(027)253-0221(代)
宇都宮	営業所	〒321-0924	宇都宮市下栗一丁目23-21	☎(028)633-0721(代)
水戸	営業所	〒310-0046	水戸市曙町10-1	☎(029)251-0601(代)
さいたま	営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町四丁目43-20	☎(048)651-5321(代)
千葉	営業所	〒262-0013	千葉市花見川区禰橋町1621-7	☎(043)257-5511(代)
東京	OS営業所	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03)3263-2961(代)
東京	第二営業所	〒102-0075	東京都千代田区三番町8-1 三番町東急ビル6F	☎(03)3263-5571(代)
東京	第三営業所	〒192-0024	八王子市宇津木町593-1	☎(042)639-7711(代)
八川	営業所	〒212-0053	川崎市幸区下平間130 サンガーレンビル1F	☎(044)543-6851(代)
山梨	営業所	〒400-0851	甲府市住吉四丁目23-6	☎(055)223-5811(代)
山梨	営業所	〒435-0036	浜松市南区渡瀬町304-1	☎(053)411-8131(代)
岐阜	営業所	〒500-8357	岐阜市六条大溝一丁目12-9	☎(058)268-7101(代)
三重	営業所	〒514-0832	津市南中央30-19	☎(059)222-3531(代)
滋賀	営業所	〒520-2361	野洲市北野一丁目5-10 リ・プレイスⅡ3F	☎(077)518-0701(代)
和歌山	営業所	〒640-8341	和歌山市黒田字門田158-5	☎(073)473-8171(代)
奈良	営業所	〒630-8113	奈良市法蓮町986-2	☎(0742)26-5751(代)
神戸	営業所	〒658-0044	神戸市東灘区御影塚町一丁目9-33	☎(078)856-8181(代)
岡山	営業所	〒700-0952	岡山市北区平田101-102	☎(086)243-7581(代)
高松	営業所	〒760-0078	高松市今里町二丁目12-7	☎(087)834-6011(代)
高松	営業所	〒791-8041	松山市北吉田町1006-32	☎(089)971-9941(代)
北九州	営業所	〒802-0979	北九州市小倉南区徳力新町二丁目9-20	☎(093)965-2311(代)
熊本	営業所	〒861-8005	熊本市龍田陣内三丁目12-1	☎(096)337-1711(代)
宮崎	営業所	〒880-0032	宮崎市霧島五丁目43-1	☎(0985)24-0551(代)
鹿児島	営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-132	☎(099)260-2601(代)

施工部門

東日本	統括課	〒134-0086	東京都江戸川区臨海町三丁目6-2	☎(03)3878-5591(代)
西日本	統括課	〒564-0014	吹田市吹東町67-1	☎(06)4860-9311(代)
東北九州	統括課	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町一丁目6-10	☎(022)788-2551(代)
さいたま	サービスセンター	〒331-0812	さいたま市北区宮原町四丁目43-20	☎(048)662-2131(代)
横浜	サービスセンター	〒222-0036	横浜市港北区小机町1911	☎(045)475-3931(代)
名古屋	サービスセンター	〒467-0852	名古屋瑞穂区明前町17-7	☎(052)819-6821(代)
京都	サービスセンター	〒612-8413	京都市伏見区竹田三ツ杭町45	☎(075)645-1047(代)
南大阪	サービスセンター	〒587-0002	堺市美原区黒山784-2	☎(072)361-5811(代)
神戸	サービスセンター	〒658-0044	神戸市東灘区御影塚町一丁目9-33	☎(078)856-4646(代)
広島	サービスセンター	〒731-5123	広島市佐伯区五日市町大字昭和台28-5	☎(082)924-5771(代)
福岡	サービスセンター	〒812-0062	福岡市東区松島一丁目32-20	☎(092)623-8591(代)

新製品紹介

●カームドア気密型(平成22年6月発売開始)

カームドア気密型は、ワンランク上の気密性能や遮音性能を必要とする部屋に使用可能なドア製品です。扉の開閉については、自閉機構が内蔵されており、扉を開けた後静かに自閉いたします。



気密材(枠部)



気密材(扉下部)



●マイティ-Lux70(平成23年4月発売開始)

マイティ-Lux70は、W構造により断熱性、遮音性に優れた可動間仕切です。国土交通大臣認定の不燃材料を使用しており、オフィス、病院、学校や公共施設等オールラウンドに対応します。



株式についてのご案内（株主メモ）

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 株主確定の基準日 定時株主総会、期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告（<http://www.komatsuwall.co.jp>）
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

株主優待制度のお知らせ

- 贈呈基準 期末日（3月末日）現在100株（1単元）以上保有の株主様に、一律2,000円分の当社オリジナルデザイン図書カードを贈呈いたします。
- 贈呈時期 6月下旬に配当金支払通知等とともに送付いたします。

小松ウォール工業株式会社

石川県小松市工業団地一丁目72番地

URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>

